

越中一宮

<https://www.takase.or.jp>



神人

和楽。

御社殿屋根葺替え工事は
九月に竣工します。
皆様で奉祝行事にお越し下さい。

七月・八月・九月の祭事

月次祭（毎月一日・十三日／九月は一日のみ）

七夕祭並びに技芸上達祈願祭（七月七日）

人形感謝祭（七月十六日）

除熱祭（七月二十二日）

中禮祭（八月十六日）

例祭（九月十三日）

御社殿屋根銅板葺替工事に伴う正遷座祭

（九月二十日）

御社殿屋根銅板葺替工事竣工奉幣祭（九月二十一日）

同 奉祝祭（九月二十二日）

秋季皇霊祭（九月二十三日）

御社殿屋根銅板葺替工事竣工奉祝祭

並びに奉祝行事（九月二十四日）

しんじんわらく：神様と人とが共に和やかに楽しむさま。



真榊(まさかき)

宮司 藤井秀嗣

七月に入った。今月末には私の中で今年の二大行事のひとつとして、庄川弁財天社の御開扉大祭(通称・御開帳)が斎行される。地元氏子をはじめ沢山の方々に協力いただき、準備に汗してもらっている。ありがたいやら嬉しいやら、感謝いっぱいである。

そして、調和のとれた美しい姿形になるということを真榊の「勾玉」は教えてくれている。弁財天社の御開扉大祭も大勢の人たちの魂の輪(和)によって、大きな力が発揮され、麗しい神事となるよう願っている。

このお祭りは三十三年に一度行われ、今回で二十一回目となる。庄川の川の恵みに感謝して始められた。今は川の管理が行き届き、水不足や水害など起こることはないが、昔はそうではなかった。昔の人が出来たことは神様にひたすら祈ることであった。どうしたら感謝の真心が伝わり、ご加護をいただけるのか、私たちの祖先が考えぬいた末に始めたのが、この御開扉大祭というお祭りである。

真榊には勾玉と一緒に三種の神器のひとつ、「鏡」も掛けてある。鏡は「鑑みる」という意味がある。鏡に映る自分の顔は祖先の顔であり、子孫の顔でもある。過去を振り返り、未来に伝えていくこと、伝統の精神や姿形を伝えていくことは、私たちがしなければならぬ使命であるということ。「神鏡」は教えてくれている。この度のお祭りでは「真榊」を新調して、心新たに斎行することになっている。

神社の拜殿には「真榊」という五色の旗が立ててあり、そこに「勾玉」という三種の神器が掛けてある。勾玉はオタマジャクシのような形で人の魂の形にも例えられる。真榊の勾玉は筒状の棒と勾玉が交互になって一本の紐で結ばれている。ペンダントの姿である。ペンダントの形は「輪」であり、輪は「和」につながるという。人の魂を象徴する勾玉がいくつも纏まって一つの輪になることで大きな魂となり、力となる。

日頃の生活用水となる川に感謝し、度々の水害で生命の危険にさらされないよう神様に祈り

三十三年に一度のこのお祭りに参拝していただき、その様子を家族や知人に語り伝えてもらえたら嬉しい。神職や氏子など限られた人だけではなく、参拝して、見たこと、感じたことなど、多くの人たちの口から話してもらいたいと思う。そのことが伝統の精神、形を未来へつなぎ、継承してゆく第一歩になるのだから。

を捧げてきた祖先の思いやその姿を受け継いで、次の世代に引き継いでいかねばならない。



鹿熊秀夫氏(南砺市久戸)には、長年の風雨などにより傷みの進んだ「高瀬稻荷社」の鳥居、賽銭箱他の塗装修繕をご奉納いただきました。(写真7ページ)

神域の桜も例年より少し早く満開を迎えた四月十日、春の大祭「春季祭」を斎行しました。当日は篤志奉納者の鹿熊秀夫氏にご参列いただき、その篤い崇敬の念に対し、宮司より感謝状並びに記念品を贈呈しました。



春の大祭 春季祭

祈年穀祭齋行

— あわせて農事功労者表彰式 —

さわやかな初夏の陽射しの日となった六月十日、農作物をむしばむ害虫を追い払い、その年の五穀豊穡を祈る「祈年穀祭」を齋行しました。

本年の祭典には、石岡敬夫、藤井秀之両責任役員、井波地域農業者会会長 西村精志氏、高瀬区長 岩倉保男氏他、約四十名の皆様のご参列をいただき、盛大且つ厳肅裡に齋行することが出来ました。

当日は、本年の参向使をお努めいただいた、福光農業協同組



参向使、被表彰者、責任役員との記念撮影

合組合長 幅田浩司氏により、五穀豊穡の祈りを込めて玉串が捧げられました。

また、祭典に引き続き、永年にわたり地域農業の発展に寄与された、小矢部市茄子島の岡田繁正氏が農事功労者表彰を受けられました。

六月十二日、大神様の御神霊をお遷した神輿と、古式に則り鑽り出された御神火が、新緑の町並みを巡行しました。
神輿は本年も、なんと農業協同組合、福光農業協同組合、いなば農業協同組合、となみ野農業協同組合の四事業所を巡り、各所にて御旅所祭を奉仕しました。

祈年穀祭 神輿渡御



御神火が、砺波野を巡る。



祭典にて鑽り出された御神火に一拝

昭和祭齋行

昭和天皇のご遺徳を仰いで

鎮守の杜にも青葉が繁り、爽やかな風が新緑を揺らす四月二十九日、困難に満ちた我が国の近現代史に、復興と発展をもたらされ、その後も長く国民に寄り添われた、昭和天皇の数々のご聖業を讃えて「昭和祭」を齋行、「昭和の日」として国民に親しまれるこの日、皇室の益々の弥栄と国の隆昌を祈念しました。



「なんど椿の会の皆様よりご奉納いただいた椿「井口の香り」の苗木

また、五月四日の「みどりの日」には、自然を愛された昭和天皇の思召しに想いを重ね、境内に十五本の椿の苗木を植樹しました。

祝祭日には

国旗を掲げましょう



初夏の風わたる六月四日、この地域特有の季節風である「井波風」の鎮めとして建立された、八乙女山風神堂の例祭並びに開山祭を齎行しました。



この日参列された七十名以上の登山者の皆様は、緑豊かな山の空気のなか、風害のない地域の安全と、めぐり来る秋の豊穡を祈りました。

八乙女山風神堂例祭

初夏の風わたる六月四日、この地域特有の季節風である「井波風」の鎮めとして建立された、八乙女山風神堂の例祭並びに開山祭を齎行しました。

献花祭齎行

梅雨空の晴れ間となった六月十一日、地域の古代史研究の要である高瀬遺跡主催「第四十九回 菖蒲まつり」の開催にあわせて「献花祭」を齎行しました。



献穀田だより

畔の蛙の音が響きわたる五月二十一日、高瀬神社献穀田において恒例の「御田植祭」を齎行しました。
大安吉日のこの日、花笠と緋袴を身にまとった五名の早乙女は、ご神前より授かった苗を、風渡る田の面にひと株ひと株心を込めて丁寧に植えました。

献穀田奉耕者
井波地域農業者会会長
豊作の祈りを込めて

波能 治男氏
西村 精志氏



御田植祭齎行



今年も高瀬神社の夏の風物詩、南砺あさがお会主催の大輪あさがお展が開催されます。朝顔は朝のうちが見ごろです。お誘い合わせの上、どうぞ皆様で足をお運び下さい。



大輪あさがお展開催
期間 8月3日(木)～6日(日)
展示時間 7:00～12:00



期間 7月15日(土)～17日(月・祝)
10:00～16:00
場所 高瀬神社 平成殿

第23回 人形展 一期一会
県内外で幅広く活躍する人形作家と、草月流富山県支部 秀抱会との創作人形といけばなの共演。心ゆくまでお楽しみ下さい。

人形感謝祭のご案内 — 思い出をありがとう —

古くなった人形に感謝し、お祓い、お焚き上げをするお祭りを行います。役目を終えた人形をお持ち寄り下さい。

日時 7月16日(日) 10:00より
受付 7月15日(土) 9:00～15:00
7月16日(日) 9:00～9:45
祈願料 3,000円からお納め下さい。
(手提げ袋1袋程度につき)

今まで
ありがとう



シリーズ

大国さまの

牛嶽社めぐり

第六回 山田湯牛嶽社

牛嶽社は、旧婦負郡と砺波郡に跨る標高九八七mの牛嶽(岳)を御神体とする神社です。牛嶽(岳)は地域を潤す水源地でもあり、住民は残雪や頂上の雪を見て、農耕の開始期や冬の到来を察知してきました。今回紹介します湯の「牛嶽社」は、富山市山田湯に鎮座する神社です。神社の周辺には山田温泉があり、その地名の通り水資源の豊富な地域です。

創立年代は不詳ですが、元治元年九月二十六日本殿拝殿再建、明治十二年九月十五日社殿再建した記録が残されています。現在春祭りは四月十四日、秋祭りが十一月六日に行われています。

【牛嶽社由緒】

康富記云宝徳二年七月十六日戌午晴陰後日人々語説今日於越中国有不思議大風大雨雨中牛嶽ト云所より光物出其躰雲中鬼形有之指良飛行其間十里許也山河草木悉損失云々。越中旧事記高山にて三月雪の消カカル時牛の形に能似たる故名け、その牛嶽をとり牛嶽社といわれるようになったと思われる。



ガラスの風除室に守られる本殿

神社名 牛嶽社
鎮座地 富山市山田湯
御祭神 素戔鳴尊
宮司 若宮 得幸
境内地 四五〇坪

御社殿屋根 修復事業
ご奉賛のお願い

高瀬神社では、経年等により傷みの進行した御社殿屋根の葺替え工事を実施しております。引き続き、あたたかいご奉賛を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

【募金実施期間】令和5年12月末まで

◎詳しくは社務所までお問い合わせ下さい



御社殿屋根
銅板葺替工事竣工

奉祝行事のお知らせ

奉祝稚児行列
お稚児さん募集
対象三才男・女問はず(定員〇〇名)
参加費一八一万円
お申し込みは社務所まで
定員になり次第メッキリせて頂きます

8/31
〆切

高瀬神社と氏子の皆様は、かねてより実施してまいりました当事業の完了を間近に控え、その奉祝祭にあわせて下記により奉祝行事の準備を進めております。どうぞお楽しみに！

記

日時 令和5年9月24日(日)
午前9時より奉祝祭
場所 高瀬神社 本殿・境内 他
行事内容 ・獅子舞・奉納行列
・奉祝稚児行列
・餅つき太鼓・餅まき・奉納コンサート
・マルシェ・キッチンカー 他

※駐車スペースには限りがありますので、ご家族お友達の皆様は出来るだけお乗り合わせにてご来場下さい。





大国さまの処方せん ⑨

「AI（人工知能）時代の
医師はどうなる!?」

南砺市民病院
放射線科部長 富澤 岳人

私は放射線科医師として日々、CTやMRIを見て、画像診断を行なっております。モニターに表示される様々な画像を見て、報告書を作成していく診療業務は、昨今いろいろな分野で議論を呼んでいるAIとの相性がいいのではないかと予想がなされ、今後どんどん導入されていくだろうと予想されるのは無理のないことかと思えます。事実、二〇一六年に海外のある科学者が、放射線科医より優れるので、放射線科医の教育は無駄なことだといった衝撃的な意見を出したことがあります。これを受け、アメリカでは放射線科は大変人気のある科でしたが、一時的に放射線科志願者が急激に落ち込むこととなりました。しかし、それ

遅くとも十年以内に、より身近な現実の医療現場にAIの波が押し寄せることになるような気がします。でも、AIには患者やスタッフとコミュニケーションをとることも、新しい診断方法を検討したりすることはできません。医師がAIに取って代わられることはないと思いますが、皆さんはどう考えますか。みんな、ロボット医師に診察なんてして欲しくないと思っている私は信じられません。...

富澤 岳人先生

南砺市民病院 放射線科部長
富山大学医学部卒、医学博士
放射線科専門医、IVR
専門医。
画像診断とIVR(カテーテル
治療)を専門とされています。

医薬医療の神として知られる大国主大神(大国さま)のご神徳にちなんだこのコラムは、毎回、専門家の方に寄稿いただき、読者の皆様のご生活に役立つ医療知識などを発信いたします。

御社殿屋根修復事業奉賛者芳名

(順不同・敬称略)

令和五年三月一日〜令和五年五月三十一日
現在進捗中の本事業に対し、左記の方々より赤誠あふれるご奉賛を賜りました。
厚く御礼申し上げます。

【五十万円】

砺波市遺族会
東和奉産(株)
松尾 正貴

【三十万円】

島田 勝由

【十万円】

中嶋由美子
南砺市遺族会
平支部

【五万円】

谷口 泰之
高田 裕馬
豊川 喜作

【二万三千八百九十円】

南砺市遺族会
福光支部広瀬館地区
【二万円】
あづちや
河原 武

【一万五千円】

山戸 みき
大甲外美子

【一万円】

砺波市遺族会
東野尻支部
トナミ醤油(株)
宅間 崇宏

竹澤工業(株)

竹澤 広治
鳥 敏和
北原 俊一

芳村伊十一郎

石崎 正

石崎千恵子

工藤 実

(株)タストラボ

松田 泰雅

南部 政幸

矢木 恭子

真田千栄子

染谷 睦子

澤田 裕之

渋谷ハルエ

石橋 芳勝

岡田 彰平

本江 信俊

【五千元】

川合 昭夫

中田 勝浩

高橋 太

垣見希宗子

五十嵐重樹

西田 久男

橋本 隆子

橋本 秀人

中山 卓

岡田 理恵

岡田 愛結

北岡 孝子

林 信吉

中山 健史

尾山 智華

川野 良保

【三千元】

鹿渡 大高

藤井 岳

河部 博之

尾久 光則

石橋 信志

山本 祐

布江 裕

寺林 法之

市村 清

市村 和恵

強矢 和久

寺尾 純

土淵 憲彦

菱川 敏彦

高瀬 浩一

田村 隆文

【二千元】

奥野 正徳

林 鐵史

山田 諭子

戸田 信之

福澤 成共

ご奉納御礼

【稲荷社鳥居・賽銭箱塗装修繕】

鹿熊 秀夫殿



【参道玉砂利】

安達建設株式会社

代表取締役 安達 正彦殿

【参道玉砂利運搬奉仕】

株式会社 岡部

代表取締役社長 岡部 竜一殿

【参道玉砂利敷設奉仕】

株式会社 藤井組

代表取締役社長 藤井 秀之殿

【境内樹木剪定奉仕】

株式会社 越路ガーデン

代表取締役 西尾 倫頭殿

【椿苗木十五本 同植樹奉仕】

なんと椿の会殿

以上の皆様よりご奉納を賜りました。厚く御礼申し上げます。

日本の新しい習慣として

夏詣 開催

期間 七月一日(土)～七日(金)

「夏詣」とは…

「大祓」は年に二回行われます。

十二月三十一日の「師走の大祓」で罪穢れを祓い清めてから「初詣」に出かけ、新年の平穩を祈ります。

六月三十日の「夏越の大祓」でも同様に罪穢れを祓いますが、その



期間中境内を彩るガラスの風鈴

後あらためて参拝する習慣はありませんでした。そこで、半年が無事に過ぎたことに感謝し、残る半年も平穩に過ごせるよう祈る参拝のことを「夏詣」と呼び、新しい習慣として提唱しています。

約五五〇個の風鈴の音色

高瀬神社では、この「夏詣」期間、社殿前などに風鈴を飾り、皆様に涼やかな音色をお楽しみいただいています。どうぞ、ご家族お友達お揃いでお参り下さい。



夏詣期間限定のご朱印

表紙写真

銅板葺替えの完了した千木と鯉木。

編集後記

近年、飲食店で見かけるようになった配膳ロボットは、存外高額なのだという。そのメリットは弱音を吐くこともな

く人々に愛され、スタッフ同士のいざこざとも無縁といったところか。鉄腕アトムやサイボーグ009の時代が来たとしても、彼らの未来は明るそうだ。(智)

安産祈願 戌の日カレンダー

7月	3日・15日・27日
8月	8日・20日
9月	1日・13日・25日
10月	7日・19日・31日
11月	12日・24日
12月	6日・18日・30日

腹帯のお祓いも行いますので、どうぞご持参下さい。

令和5年7月1日(土)
～9日(日)
9:00～16:30

会場 高瀬神社 参集殿

©「富士に龍虎園」/谷口智則

谷口智則展開催
絵本の世界



結びの杜の神前式

縁結びの神様、大国主大神をお祭りする越中一宮。

日常を隔てる境内で、玉砂利を踏みしめて歩く参進の儀に始まり、社殿に響き渡る雅楽の調べの中、厳かな神前式が執り行われます。

大国様の「結び」の御神徳によりお二人だけではなく、両家の絆も固く結ばれます。



四季折々の境内でロケーションフォトを満喫



一日一組限定のおもてなし

完全なプライベート空間で和やかな宴会が実現すべは一組の新たな夫婦の幸福のために



オープンエアなプライベートテラスで開放的な演出が実現



二人の夢が叶いますように

高瀬神社は結婚されるすべての方を歓迎しています。



あなたの人生に、神社がある。

越中一宮 高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291
ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社 🔍 検索



高瀬神社LINE



高瀬神社HP